

広報たかつき

知る 広がる 好きになる

TAKATSUKI

Days

令和8年

7

No.1460



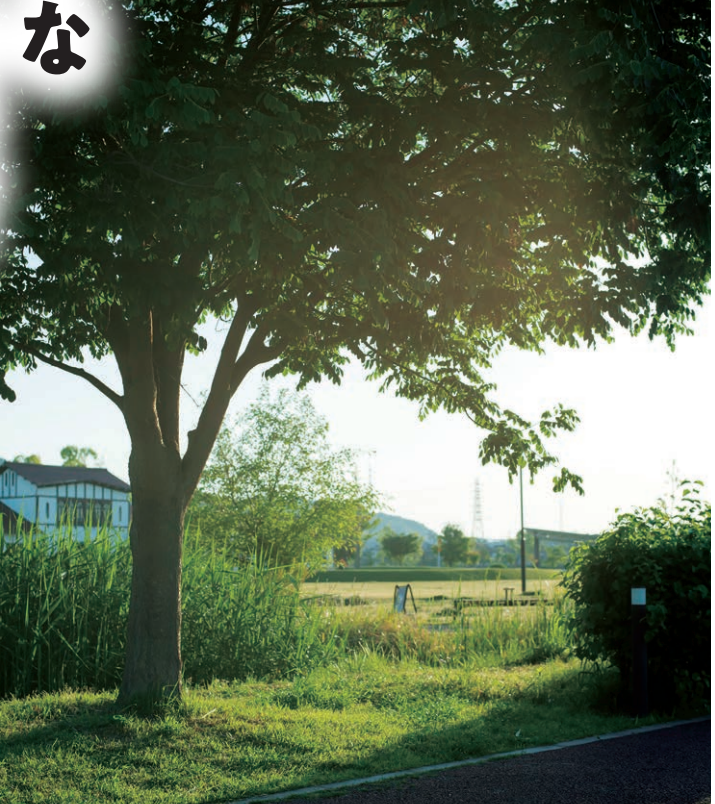
好きな

まちかど



Pick Up

- 10 たかつき未来パーク 誕生へ
- 14 危機管理センターで市民の防災力アップ
- 15 このまちで暮らす理由
- 24 チャレンジ詰将棋 第50回記念企画

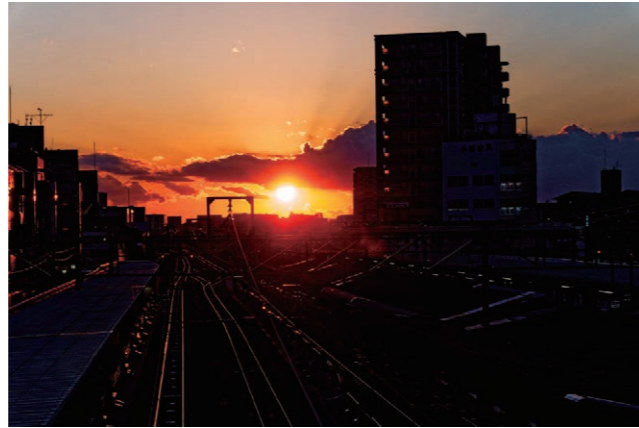


ステキな瞬間がある日常が好き!



いつも目にする見慣れたまちが
ふとステキに見えて、
ハッとする瞬間がある。
そんな風景を切り取った写真は
まちの記録であり、記憶でもある。

★写真は「高槻市の野外で見つけないと思った瞬間」を
テーマにした写真展参加者の協力によるもの。展示作品を
含む高槻の多彩な表情を集めた



JR高槻駅から〈大阪側〉(令和3年12月撮影)
駅から大阪側を望むと、夕陽とレールの反射がきれいでした。
「未来への輝き」をイメージしてシャッターを押しました。
(Hide.Yamamoto)



高槻城公園 (令和7年9月撮影)
ふと思立って公園に行った際、最近すっかり見かけなくなった
地球儀型のジャングルジムがありました。子どもの頃によく遊ん
だので懐かしくなりました。タコの滑り台がクリーム色だった
ので、モノクロフィルムでコントラストを意識して撮りました。
(Hide.Yamamoto)



ちょっといい景色は
おなじみの場所にある



JR高槻駅北口歩行デッキ
(令和3年12月撮影)
夕方、駅から高架に出るところを
往来する人を照らす夕陽とその影
がきれいで、みんなが明日へ向
かっているように感じました。
(Hide.Yamamoto)



Hide.Yamamotoさん

高槻の魅力はいろいろありますが、力ま
ず気軽なスナップが楽しめるところでしょう
か。秋から冬にかけては、夕陽がJRや
阪急の線路の方向と重なって線路や列車
が黄金色に輝くタイミングがあり、息をの
む美しさです。

mion (@oceanmusic218) さん

まちと自然が融合した高槻では、いろい
ろな表情を見ることができます。堤防や
街路樹にも、いつもさまざまなシャッター
チャンスがあります。人が集まるお祭りや
イベントもたくさんあって、季節を問わず
撮影がとても楽しいです。

roadshineさん

生まれて半世紀以上ずっとこのまちで育っ
てきましたが、自然を維持しつつ生活の
利便性も高まったなかで、世代を問わず
楽しみを感じられる催しやまちなみを撮
影できるところが、高槻の一番好きなと
ころです。



こいのぼりフェスタ〈芥川桜堤公園〉(令和5年4月撮影)
タイトルは「風に誘われて」。青空に心地よく泳ぐ色彩豊かなこい
のぼりと川原に咲く菜の花を合わせました。娘に元気よくジャンプ
してもらい、いきいきとした1枚になりました。(roadshine)



天神まつり (令和7年2月撮影)
キツネのお面をつけてスーパーボールすくいをしている人の姿が、
人間ではなく、キツネが「真剣勝負」しているようでした。その様
子を伝えたくて構図を工夫して撮りました。(mion)

ikarimame (@ikarimame5) さん

生きものや四季折々の植物、電車やバス、
飲食店のテーブルフォト、まちや人などの
ストリート、歴史ある風景や古くてモダン
な建築、また新しい建造物など、どんな
ジャンルの写真でもちょっと歩けば撮影で
きる環境があちこちにあるのが魅力です。



新名神高速道路の橋脚 (令和6年10月撮影)
高速道路の橋脚が、ハの字に青空に向かって伸びていて、体操の
伸びをしているように見えました。橋脚が息を吐いたような雲の配
置で撮りました。(ikarimame)

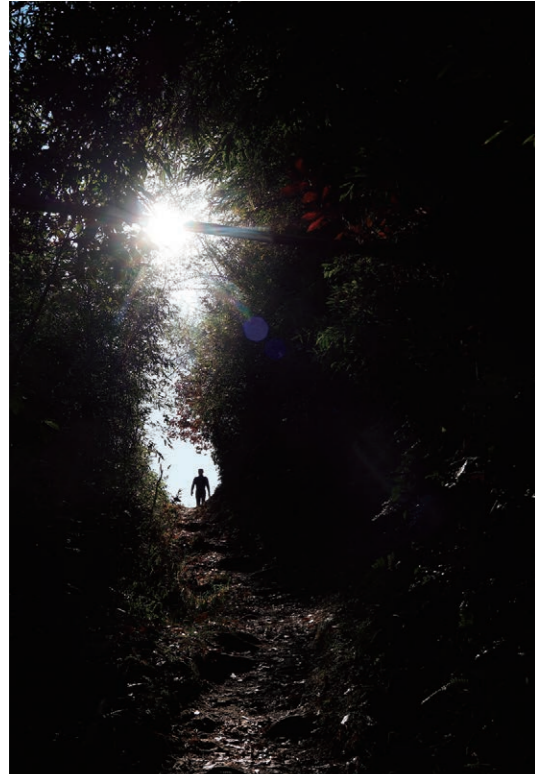


神峯山寺 (令和2年12月撮影)
紅葉のタイミングで鮮やかな赤い前掛けをお召しに
なったお地藏様。お日さまを浴びているお地藏様と
影になったお地藏様の対比に、陰と陽の力強さを感じ
ました。(ikarimame)

※表紙は高槻出身フォトグラファー・中森健作の「いいなと思った瞬間」。
左上から反時計まわりに八丁駱交差点・八丁駱町うのはな児童遊園・安満遺跡公園 (令和8年5月撮影)、芥川桜堤公園 (同年6月撮影)

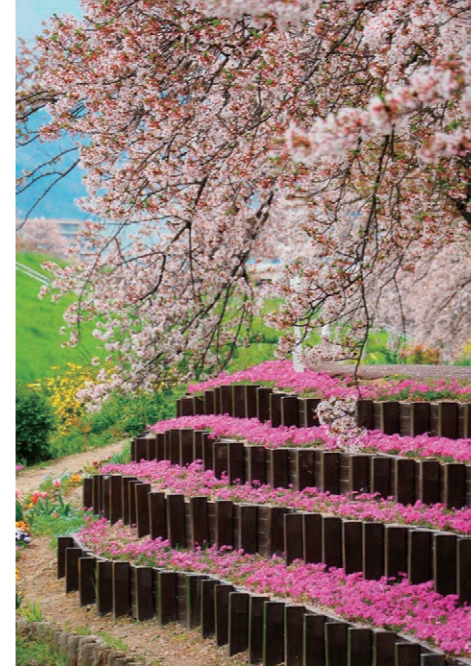
自然が豊かなのがいい!

「高槻の好きなところ」として多く挙げられる豊かな自然。まちのあちこちにある自然、郊外の「とかいなか」な光景は、高槻らしい風景のひとつでもある。



三好山 (令和6年1月撮影)
「まもなく頂上か」と前を見上げると光が射し込んできて、その先に見えた人のシルエットが「宇宙人みたい!」。このおもしろすぎる瞬間を撮りました。(Hiroko Ono)

宮野町の水路 (令和7年4月撮影)
私にとっておきの桜スポットです。日暮れ前のやわらかな光が小径を照らしていたその瞬間、桜吹雪が舞い上がりました。「きれい!」。その瞬間を切り取りました。(Hiroko Ono)



新川堤防 (令和5年4月撮影)
高槻をステキに撮られている写真家さんのSNSでこの場所を知り、さっそく訪れた日の写真です。この時の春の暖かさやワクワク感が伝わるように撮影しました。(Hiroko Ono)



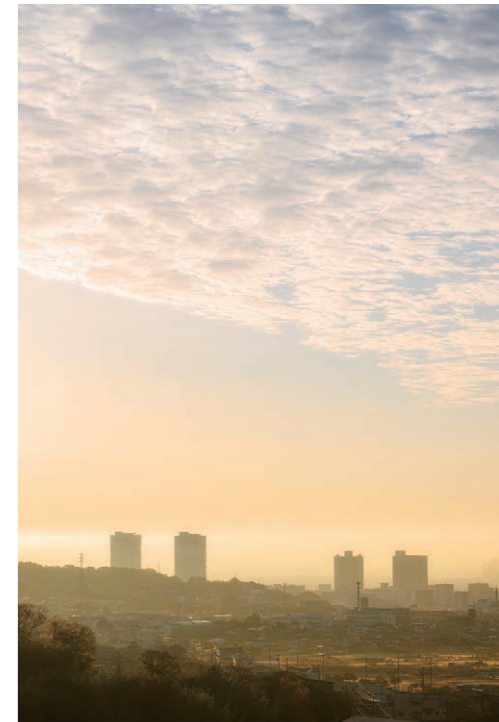
淀川河川公園大塚地区 (令和7年12月撮影)
開放感のある河川公園から、夕方のマジックアワーを背にした樹木がとてもキレイで心にしました。広々とした背景を枝の間から透過するような配置にしました。(ikarimame)

近くにある自然はこのまちのたからもの



水田と榎田小学校 (令和6年5月撮影)
その普通っていた小学校も、こんな感じで近くに田んぼや畑が多くあったような気がします。そのためか、どこか懐かしい感じがして、小学校の夜の姿を撮ってみました。(Naoto Nishioka)

氷室池 (令和5年7月撮影)
空をなぞるように伸びた飛行機雲と水面に映る風景が重なり合い、一期一会の風景ができていました。二度と同じ瞬間はなく、すべてのことがどこでつながっていると感じて、すてきだなと思いました。(rikayu_picture)



摂津公園桜広場から (令和5年11月撮影)
朝霧でちょっとぼんやりとしたJR高槻駅方面。遠くからだまた曇田気が変わります。うっすらと黄金色に輝く空間にたたく高層マンションが美しく、印象的でした。(Naoto Nishioka)



あくあびあ芥川展望スペースから (令和5年7月撮影)
暑い夏の日、展望スペースから山の方を眺めると、住宅が密集したエリアあり、田んぼなど鮮やかな緑のエリアあり、木々の濃い緑のエリアあり。個人的に落ち着く曇田気のものでした。(Naoto Nishioka)



📷 Hiroko Onoさん

高槻は美しい公園や歴史あるまちなみなど、ウォーキングが楽しくなる場所にあふれています。道端にも季節の花が咲き、歩くたびに新しい発見があります。ウォーキングの途中で見つけた場所や心動かされる瞬間をカメラに収めています。

📷 rikayu_pictureさん

緑豊かな自然と都市が共存する高槻市。日々の暮らしにちょうどいい静けさとふとした瞬間に感じるやさしい四季の美しさに包まれながら、心ほどける時間がゆっくりと流れています。便利さからの程よい距離感と余白がここにはあります。

📷 Naoto Nishioka (@nnao10) さん

高槻は、生活するのに非常に便利でありながら、がんばれば徒歩でたいていの場所に行くことが可能なまち。のんびりと歩いたからこそその気付きがあるのが楽しく、撮影場所には事欠きません。高槻の写真だけでの個展も開けます。

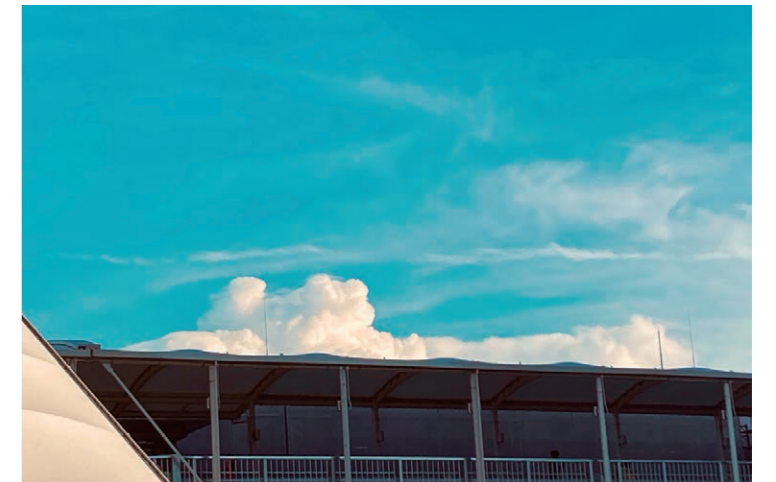
これが高槻!? 発見が止まらない



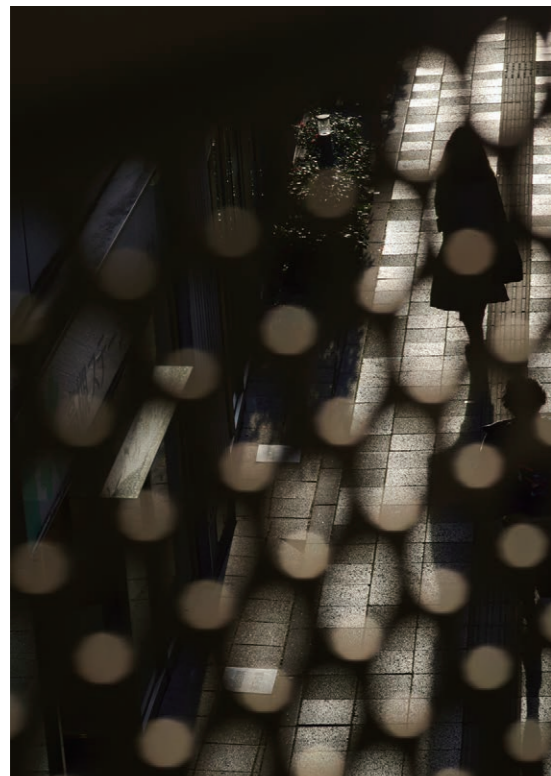
印象的な写真はどれも、
JR高槻駅周辺で見つけた一瞬。
いつも利用する場所の特別な表情を残せるのは、
写真ならではの。視点を変えてまちを歩けば、
いろいろな「横顔」を発見する楽しさがある。



JR高槻駅北口歩行デッキから (令和6年6月撮影)
地面に幾何学模様を見つけて、八角形の赤い傘と組み合わせました。
六角形と黄色のラインでも、それに合う青の傘で撮りました。タイトル
は「Geometric pattern」としました。(See)

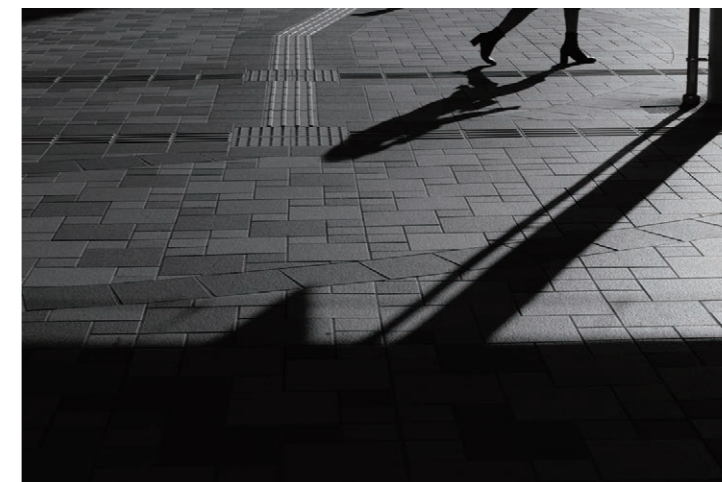


JR高槻駅北駅前広場から (令和5年8月撮影)
新しく整備された見慣れない歩道橋の屋根が、空港のターミナルのように見えたので
撮影しました。タイトルは「高槻空港」です。一見、高槻にこんな場所あった?と思う
ような構図にすることで、変化していくまちと、未来への期待感を重ねてみました。
(高槻みなせ)



JR高槻駅北口歩行デッキから
(令和6年12月撮影)
タイトルは「dot」。西陽に輝くグレーチング
フェンスを「たまボケ」にして撮りました。
(See)

知らなかった表情 まちはさまざまな顔を持つ



JR高槻駅北駅前広場
(令和6年10月撮影)
「西陽」とタイトルをつけたように10月
なのに日差しがキツく、コントラストの
ある夕方の長い影を見つけてパシャリ。
(See)

アル・プラザ高槻前
(令和6年2月撮影)
雨で道路が濡れていると、
いつも以上にキラキラとし
た空間になります。そんな
雰囲気撮りたくて、雨が
降っているなか、駅前まで
行ってきました。
(Naoto Nishioka)



📷 高槻みなせ (@tktksc) さん

日々景色が変わるスピード感が、高槻を撮
るおもしろさだと思います。昔、芥川商店
街のなかをバスが走っている写真を見て
驚きましたが、そんな変化を今は自分たち
が記録している最中かもしれません。なに
げなく撮った今日の高槻も、未来の誰か
を楽しませるのでしょうか。

📷 Seeさん

興味深いイベントがあり、山や自然が都市
部から近いところなど、住んでいるまちと
共通点があって親近感を感じています。
駅周辺しか行けていませんでしたが、ジャ
ズストリートやこいのぼりフェスタなど撮
りたいところがたくさんあるので、いろい
ろと行ってみようと思っています。

Interview

「いいな!と思った瞬間」を意識すれば
高槻の新たな魅力が見つかります。

吉田 ともこさん たかつき gallery R オーナー (芥川町)

人は「いいな!と思った瞬間」にシャッターを切ります。その瞬間は、同じまちなみでも人
それぞれ違います。5年前、公募写真展「たかつきストリートスナップ」を始めたのは、見慣
れたまちと向き合うことで高槻の「いいところ」に気付くきっかけになればと思ったからです。
また、撮った写真をプリントして「作品にする」楽しさを伝えたいという思いもありました。
写真の良さは、光と影を捉え、心を動かされた瞬間の感性を形にできること。いつもの風景
とは違う新しい発見があります。日常を記録し、あとから当時の記憶を楽しむことができる
のも写真の魅力だと思っています。



昨年の「たかつきストリート
スナップ2025」と応募作品